

## 第2次恵那市総合計画地域計画

自治区名	岩村地域自治区
------	---------

### 【地域の現状】

岩村町は、日本三大山城の一つである岩村城跡と国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている古い町並みが残り観光資源に恵まれています。岩村出身の偉人の顕彰活動や、資源を活かしたまちづくり活動も活発に行われ、江戸時代から続いている「御輿渡御行列」など文化を伝承し続けています。

飯羽間地区の国道257号沿いには、大規模商業店舗が出店し生活に便利なことから分譲地の開発がすすみ人口の減少が比較的緩やかである。一方、本通りの商店は往時より減少し高齢者には不便になってきています。岩村本通りは変わらずにそこで暮らす人がいて、作られたテーマパークとは違うところが魅力の一つではありますが、現在のライフスタイルには合わないことから空き家が目立ちはじめ、調査や対策を始めています。

### 【キャッチフレーズ】

“ 消滅しないぞ いわむら “  
～人が元気 人が輝く 人が財産～

### 【目指すべき地域の姿(地域の全体構想)】

「ちょうど良い町」「きらりと光る町」になるために、①観光地岩村としてさらなる磨き上げをすすめる②今いる人たちが住み続けたいと思える魅力づくり③地域の宝ものである子どもたちへの施策の充実、という3点に絞りこみ「訪れたい・住み続けたい・子どもの笑顔あふれるまち」を目指します。

訪れたいと思う観光地になるために、中長期的な観光指針として作成した「いわむらブランドデザイン」を基にハード・ソフト両面での充実を図ります。

住み続けるためには、若い世代にとっては勤め先の確保が重要です。例え、勤め先が町内に無くても通勤可能圏内であるためには交通網の整備を考えると同時に、空き家を利用し重伝建地区に見合った起業を促進し、郊外では帰農者への援助、農産品等のブランド化による農業収入の向上、跡継ぎができる商店の育成援助などを進めます。シニア世代にとっては、最後まで岩村で住み続けるために、地域で支え、助け合える仕組みを構築します。

安心して子どもが遊べる場、預けられる場の確保と関わる人を育成し、親同士や子ども同士の交流ができる場を創出し、地域の絆を強めます。子どもたちが地域を誇りに思うことができるよう、歴史や岩村出身の偉人、郷土に伝わる行事などを学ぶ機会を学校と協力して設け、郷土を愛する心を育てます。

## 【計画の柱(基本目標)】

- 1 訪れたいまち  
観光で訪れ、住民とふれあい、岩村を好きになってもらい、何度も訪れてもらおう。そして住みたくってもらい、住んでもらえるまちづくり。
- 2 住み続けたいまち  
住みやすい町、ちょうど良い町。地域で助け合い、誇りを持って愛せる町。老後も安心、災害にも強く被災しても助け合い、地域の目で犯罪を未然に防げるまちづくり。
- 3 子どもの笑顔あふれるまち  
子どもを安心して産み育てられる町。子育て世代が住みたくなる、Iターン、Uターンして子育てしたくなるまちづくり。

## 【基本施策】

計画の柱1：訪れたいまち

### (1) 施策の項目：岩村城跡の保存と景観対策

岩村城跡を修復し岩村城築城時の面影を引き出す共に、城下から本丸の石垣が見えるようにするため、樹木の伐採と樹種を針葉樹から広葉樹に植え替える。

### (2) 施策の項目：外国人の誘客対策

岩村在住の外国人の方に協力してもらい、情報発信やアドバイスをしてもらう。外国人向けツールの作成などの受入体制の整備。ネットによる世界への情報発信を行なう。

### (3) 施策の項目：新しい観光資源の活用

埋もれている観光資源を発掘し発信していく。著名人や物とのつながりを活用して誘客をすすめる。また、岩村だけでなく近隣の地域と連携し広域観光の開発に力をいれる。

### (4) 施策の項目：リピーター対策

四季に応じた、観光スポット・グルメやイベントや何度も来たくするような仕組みを作る。和菓子屋と和喫茶の併設や人気スイーツが楽しめるお店や町の雰囲気合った地元ならではの食事処、気軽に入れるお店などで誘客する。

### (5) 施策の項目：地産品のブランド化

ジビエ料理を開発しブランド化していく。地元ブランドとしてインターネットなどを活用して、情報の発信を行う。地元食材を活用して売り出す（女性をターゲットに岩村ならではのスイーツづくり。農業の6次産業化）。

### (6) 施策の項目：空き家対策

ゲストハウスなどの宿泊施設や店舗（駄菓子屋・骨董屋・カフェなど）体験施設などへの転用や住居としての再生、サブリース制度の導入。

(7) 人材確保（宣伝マン・商人）

まちの営業マンを育成し誘客をはかる。協力隊を募集しPR情報発信。案内人やおもてなし「せんしょ隊」の育成。他地域との文化や人材の交流を深め、地域の魅力を高める。

計画の柱2：住み続けたいまち

(1) 施策の項目：近くでの仕事確保

企業誘致により30分程度の通勤範囲に職場を創る。空き家を活用した起業や店舗への活用がしやすい援助制度を設ける。

(2) 施策の項目：街中に一定の商店（経営が成り立つ）

街中の住人が徒歩で買い物に行ける商店がある（商売が成り立つ環境整備）。観光客にも寄ってもらえる魅力ある商店。ひとま貸しで大家（高齢者）と店子の交流。

(3) 施策の項目：職人の町

岩村にはその昔、職人が多く暮らしていた。今職人の技が見直されており、その技の継承や職人として暮らしが成り立つようにしたい。また、職人技の体験が出来る場所を、空き家などを活用して創っていく。

(4) 施策の項目：自治会の活性化（自主防災隊・福祉委員）

高齢化や空き家の増加により、自治会組織の存続が危ぶまれている。また、自治会への未加入者も増えてきている。地域活動など自治会は重要な組織なので再編を含め、活性化を図り、見守りや自主防災など地域での助け合いを進める。

(5) 施策の項目：助け合い、お互い様の心

地域の方は皆顔見知りで、味噌醤油の貸し借りができるような、お互いにできることで助けあえるご近所づくりを進める。高齢者の知恵と若者の行動力、いざという時に助け合える交流を進める。また、地域間交流により交通弱者対策など地域の福祉力アップにつなげる。

(6) 施策の項目：最後まで自宅で住み続けられるために

人とのつながりができると地元に住みたくなる。子どもたちが岩村を愛し誇りが持てれば一度出て行っても帰ってきたくなる。年をとっても地域の活動に参加し、お互いに顔見知りの関係で活気ある町を目指す。

(7) 施策の項目：住宅改修費の助成（空き家対策）

岩村に住みやすくするための手厚い助成や移住コーディネーター（世話人）を置き、相談にのれる体制を整える。

(8) 施策の項目：交通手段の確保

地域で使いやすい交通体制を検討し提案する。（電気バスなどエコエネルギーを活用し観光にも活かす）

計画の柱3：子どもの笑顔あふれるまち

(1) 施策の項目：安心して遊べる・預けられる場所の確保

自然の中で安心して遊べる場所づくり。車の来ない路地で遊べるところなどを利用し、外で遊ぶ楽しさを伝える。子育て中の母親が集まれる場所づくり。

(2) 施策の項目：子ども同士の交流（上下と横のつながりを創る）

教える人と場所の確保をして、遊び塾で一年中季節に合わせた遊び・昔の遊びを行なう。各地域との交流会、中学生が小学生に遊びや勉強を教えてくれる場所づくり。子ども会活動では、ジュニアリーダー派遣事業を活用して、色々な遊びを教えてもらう。

(3) 施策の項目：郷土を愛する心を育でる（地元を誇りを持つ）

都市に住んでいる家族が盆・正月・お祭りなど頻りに帰省したいまち。自家野菜のお裾分けなど隣近所同士のつきあいを大切にする。郷土の歴史や偉人などを子どもに教える。勉強会や地域行事などへの参加をすすめる。

(4) 施策の項目：若者が結婚し地元に残るために

住まいの確保のため、市営住宅の整備や三世代家族の奨励（助成）を図る。正規雇用で働ける場所の確保。岩村の魅力を発信しIターン、Jターンを促進する。

## 【地域間連携での取り組み】

連携する地域	計画の柱(基本目標)及び施策の項目
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆岩村町</li> <li>☆山岡町</li> <li>☆明智町</li> <li>☆串原</li> <li>☆上矢作町</li> </ul>	<p>訪れたいまち  新しい観光資源の活用</p> <p>山岡のよいところを活かすまち  交流人口の増加・推進</p> <p>賑わいと活気のあるまち  団体やイベントの相互連携</p> <p>今ある自然を資源として活かそう  既存施設の充実と見直し</p> <p>豊かな自然と人々の交流で輝く上矢作  観光施設の充実による賑わいのあるまち</p>
<p>取り組み内容(概念)</p>	
<p>◎広域観光による地域活性化（観光）</p> <p>(概要)</p> <p>共通パンフレット・観光周遊コースの作成、イベント共催など広域で行うことにより魅力アップにつなげ観光客・交流人口の増加を目指す。</p>	

連携する地域	計画の柱(基本目標)及び施策の項目
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆岩村町</li> <li>☆山岡町</li> <li>☆明智町</li> <li>☆串原</li> <li>☆上矢作町</li> </ul>	<p>訪れたいまち  人材確保</p> <p>山岡の良いところを活かすまち  交流人口の増加推進</p> <p>青少年が健やかに育つまち</p> <p>郷土の魅力と誇りを次世代へ  伝統芸能活動の推進</p> <p>響け！伝統文化と学びで繋がる串原  人材育成と活用</p> <p>知恵と、技、喜びをつなげる  ふるさと上矢作  人をつなぎ、ふるさとへの愛着を育む活動</p>
<p>取り組み内容(概念)</p>	
<p>◎文化や人材の交流による人材育成確保（文化）</p> <p>(概要)</p> <p>恵南地域間における文化交流、人材交流等を深め、互いの地域の魅力を高め合うと同時に、伝統文化の保存伝承と後継者育成に努める。</p>	

連携する地域	計画の柱(基本目標)	施策の項目
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆岩村町</li> <li>☆山岡町</li> <li>☆明智町</li> <li>☆串原</li> <li>☆上矢作町</li> </ul>	<p>訪れたいまち 人材確保</p> <p>多くの町民が参画する活力あるまち 新たな仕組みづくり・雰囲気づくり</p> <p>若者を中心とした地域力の向上 若い世代のまちづくり組織の立ち上げ</p> <p>世代交代と耐える力 ～いつまでもくしはら～ 世代交代のために次世代を担うリーダーの育成</p> <p>知恵と、技、喜びをつなげる ふるさと上矢作 人をつなぎ、ふるさとへの愛着を育む活動</p>	
<p>取り組み内容(概念)</p>		
<p>◎(見出し) 恵南地域の若者達の能力活用と支援 (概要)</p> <p>若い力を活用した地域づくりを、恵南地域の若者達による話し合う機会を経て進め、事業の実践に繋げられるよう支援していく。</p>		

連携する地域	計画の柱(基本目標)及び施策の項目
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆岩村町</li> <li>☆山岡町</li> <li>☆明智町</li> <li>☆串原</li> <li>☆上矢作町</li> </ul>	<p>住み続けたいまち 交通手段の確保</p> <p>安全で安心して暮らせるまち 地域が家族になる「あんじゃない」のまち</p> <p>安心していつまでも住み続けられるまち コミュニティバスの運行</p> <p>世代交代と耐える力 ～いつまでもくしはら～ 福祉医療環境の充実</p> <p>いつでも、いつまでも安心ほっとするまち 安心で快適なまちづくり</p>
<p>取り組み内容(概念)</p>	
<p>◎(見出し)高齡化社会に対応した、交通弱者対策などの地域福祉力の向上 (福祉) (概要)</p> <p>公共交通機関の利用が困難な方の、通院や買物のための移動手段確保などによる日常生活支援や、近くで買い物できる移動販売車などの運営を通して、地域福祉力の向上を図る。</p>	

【全市的な共通課題への取り組み提案】

提案事項	
分野	内 容
健 康	・地域医療の充実：一次医療（診療所）の充実と二次医療や他市との連携
福 祉	・子育て支援：学童保育など子どもの居場所、遊び場、福祉医療制度充実
生活環境	・空き家対策：空き家整備に対する助成、空き家に転入する人への支援
都市交流基盤	・岩村城跡、農村景観、東海自然歩道等の自然の保存整備及び助成、地域交通の充実
産業振興	・職場の確保：企業誘致、起業支援、農業の六次産業化への支援
教育文化	・地元で誇りと愛着が持てる教え、歴史文化、郷土の偉人の教えなど
市民参画	・まちづくり団体への助成
など	